

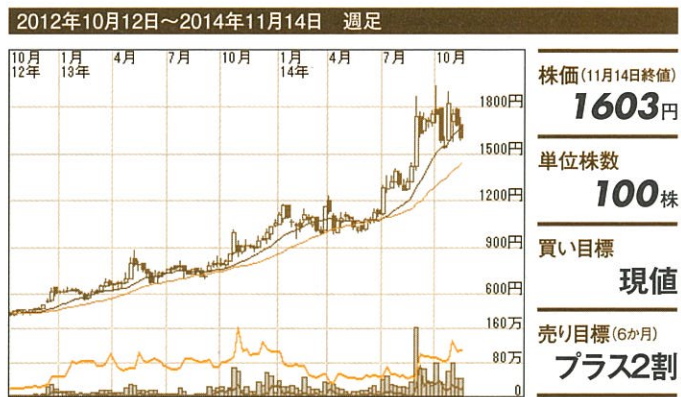
毎年冬場にテーマ化する医療関連の異色銘柄として、ナガイレーベンをピックアップしたい。看護師、医師、患者向けなどの医療白衣に特化したメーカーで、制電・抗菌加工などで優位性を持ち、看護師向け白衣において国内シェア6割超を誇る。これまで病院内では、スタッフが自ら医療白衣の洗濯を行なうケースが多かったが、近年は主にリースに切り替わってきている。このリース期間は通常4年であることから、4年ごとにリースの切り替え需要が発生し、

同社の業績を安定的に支えている。それもあって、業績はいたって堅調だ。14年8月期の連結決算は売上高が162億1400万円（前期比3.8%増）、営業利益が49億2300万円（同1.0%増）で着地。15年8月期も、5期連続の過去最高売上高と6期連続の過去最高営業利益の達成を見込む。配当性は5割と株主還元にも積極的で、目先すぐの急騰は考え難いが、堅実な成長を背景に緩やかな株価上昇が続くと思われる。長期保有にも最適だ。

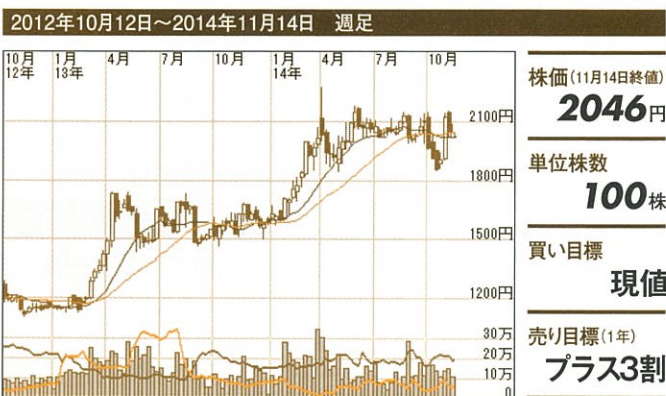
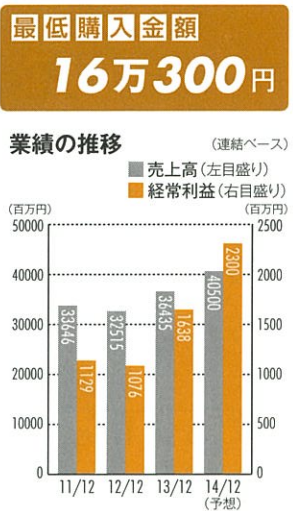
6期連続で過去最高の営業利益達成見込み 医療白衣の国内トップメーカーは配当性も高い

ナガイレーベン

東証1部
7447



企業プロフィール
土木建設事業に関連した企画、調査、計画、設計および工事監理などを行なう総合建設コンサルタントの大手。河川や道路の調査、ダムやトンネル分野などにも強みを持つ。



企業プロフィール
1915年に「永井商店」として創業した看護師、医師、患者向けなどの医療白衣の専門メーカー。看護師向け白衣では国内シェア6割超と首位。中部・西日本でのシェアアップを目指す。



建設技術研究所
豊富なテーマ性を併せ持つ総合建設コンサル大手
国土強靱化特需で増収増益トレンドに継続期待

政府の国土強靱化計画などの特需を受けて、総合建設コンサルタント大手の建設技術研究所の業績拡大が凄まじい。土木建設事業に関する企画、調査、設計、工事監理などを行なう同社は、河川や道路の調査、ダム、トンネル分野などに強みを持ち、資格保有率が高いことも特徴だ。足元の業績は快進撃が続く。14年12月期の第2四半期決算発表前の7月14日には通期連結業績予想を上方修正し、経常利益を期初予想の19億円から23億円に引き上げた。

しかし、その後も想定以上の急拡大が続く。第3四半期累計(14年1月～9月)決算の経常利益は23億5600万円(前年同期比2.1倍)を達成し、通期予想の102.5%となった。今後も公共投資の拡大を追い風に建設コンサルタンの事業環境は良好だと思われる。同社の増収増益トレンドが継続するのは間違いない。インフラの老朽化や東京五輪、防災減災関連とテーマ性も豊かで、株価の上値余地は大きいと見ている。

建設技術研究所

東証1部
9621



企業プロフィール
キッチン、ドア、床などの建築資材・設備のネットおよびカタログ通販会社。2000年からネット通販を開始し、デザイン性に優れたリーズナブルな価格の商品に定評がある。



サンワカンパニー
東証マザーズ
3187

優待利回りが抜群な好業績銘柄として、ドアや床、キッチンなど建築資材のネット通販を手がけるサンワカンパニーに注目したい。11月14日に発表された14年9月期決算は連結売上高が前年同期比29.7%増の68億9900万円、経常利益は同58.1%増の4億6800万円に拡大し、足元の業績は好調だ。新規顧客の獲得を目指し、14年6月には良品計画と共同開発キッチンを発売するなど、魅力的な商品開発への取り組みも奏功した。

中古マンションの売り上げが伸びていることに加え、政府による中古住宅のリフォームに対する低利融資方針も同社には追い風となる。リフォームの際に、同社のネット通販を利用すれば、ドアや床などをいつでも1つずつから購入できるので需要拡大が見込まれる。株価は無印良品との協業発表で急騰した後に下落し、値ごろ感が出ている。自社商品3万円分の割引券がもらえる株主優待利回りは非常に高くなっており、3月末の権利確定が楽しみな銘柄だ。

足元の業績安定に加え成長性が高い銘柄を狙う 筆頭格はテーマに事欠かない「インフラ関連」

三井智映子の注目株



【PROFILE】 みつゐ・ちえこ 1982年生まれ。早稲田大学政治経済学部在学中よりタレントとして活動。消費者とアナリストの中間的存在として、より身近に株式、金融、経済の情報を伝える。新刊『ゼロからはじめる株式投資入門』が発売中。

銘柄選びのポイント
まずはNISA(少額投資非課税制度)口座を活用して、足元の業績が安定してなおかつ成長性が高いと思われる銘柄を狙うのが得策だろう。中でも、国土強靱化計画や2020年の東京五輪開催などテーマに事欠かないインフラ関連銘柄が注目だ。個人投資家が好む「配当+株主優待」利回りが高い銘柄は、長期保有でも安心感がある。エボラ出血熱などの感染症が耳目を集めているが、それだけでなく冬場はインフルエンザの流行などから医薬・医療関連が毎年テーマに浮上しているから早めに仕込む手が考えられる。